

国際粉体工業展 東京 2024 出展のご案内



2024 11/27(水)~29(金) 9:30~17:00
東京ビッグサイト 東3ホール 3P-53

今回の「国際粉体工業展東京 2024」では、高機能材料の開発・製造を対象に、 H_2 や O_2 、真空など雰囲気下で金属の変性処理を可能とした熱処理装置や、大気暴露を防止する連結分離バルブ、伝熱加熱によってスラリーから直接粉体を生成し回収する連続乾燥機など、様々な新機種を出展いたします。是非、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

リボンドライヤー

●リボンヒーターベルトでスラリーを直接乾燥させる連続乾燥機

2本の駆動ローラー間に、ループ加工したリボンヒーターが配置され、リボンの一部はスラリー槽に水没した構造となります。リボンヒーターに通電し、ヒーター表面に接触するスラリーを直接加熱して乾燥粉体を生成します。ローラー回転に伴いスラリー槽から送出されたリボン表面の粉体は、スクレーパーによって連続的に分離回収されます。



スプリットコーンバルブ

●容器からタンクへ材料移送した接粉面が、大気暴露しない供給装置

容器から貯槽に原料を供給する際、一般的にはボールバルブやダイヤフラムバルブを用いて原料の供給や遮断を行います。その際、弁体や連結部表面には原料微粉が付着残留し、周辺汚染や原料品質劣化の要因となります。本装置は、容器及びタンクの弁体を連結被覆して、原料移送中の粉体流から弁体や連結部を保護します。



ツイストワールディスクミル

●水平と偏心回転により1台で粗砕・微粉碎に対応する磨砕式粉碎機

偏心および水平運動を行う粉碎ディスクと、固定ディスクの間に材料を供給し磨砕作用で粉碎を行います。回転運動を切り換え1台で粗砕と微粉碎に対応します。CIP セラミックや超硬熔射など各種材料のディスク選定が可能で、金属コンタミ防止にも対応します。発熱が少なく効率の良い粉碎が可能です。



多目的水素ロータリーキルン

●高温 H_2 や高温真空下の反応、金属変性処理に対応した回転焼成炉

高温かつ真空・水素ガスなどの特殊な雰囲気下で、原料を流動させながら反応処理が可能な装置です。ロータリーキルン本体と、真空ポンプ及びガス供給ユニットから構成されます。レトルト回転によって原料が流動し、均一な伝熱とガス接触・脱ガスが行われます。静置反応と比較して、品質の均一化や短時間で反応が完了などの特徴があります。

